

2026年2月25日



アルテミラグループの堺アルミが低炭素アルミニウム板製品「LoopAL[®]（ルーパル）」の CFP 値の第三者検証を取得、ラインアップを追加して出荷開始

アルテミラ・ホールディングス株式会社（本社：東京都文京区、社長：中塚晃章）はグループ会社の堺アルミ株式会社（本社：大阪府堺市、社長：細井隆広）が同社の低炭素アルミニウム板製品「LoopAL[®]（ルーパル）」の CFP（カーボンフットプリント）値の第三者検証を取得するとともに、ラインアップに純度 99.5%の製品を追加して来月より出荷を開始すると発表しました。



LoopAL[®]_1050

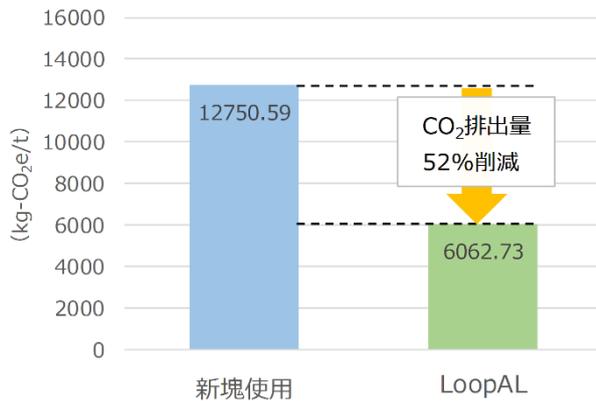
堺アルミの「LoopAL[®]（ルーパル）」は独自の製法で作られる低炭素アルミニウムの板製品です。同社が国内トップシェアを持つアルミニウム電解コンデンサー用の高純度アルミ箔（純度 99.99%や 99.9%）を生産する際に残渣として排出される純度 99.5%を超えるアルミニウムを中心に、リサイクル材を最大 90%使用して板製品にしたものが LoopAL です。LoopAL はアルミニウムの新塊から製造した板製品に比べ CFP 値が 5 割以下であり、導入企業の温室効果ガス Scope3 の削減に寄与します。また、グリーンアルミ由来の低炭素アルミニウム製品とは異なり、再生エネルギーの調達に影響を受けることはありません。

昨年 4 月の発表以来、多くのお客様と導入検討を重ねる中で「LoopAL の CFP 値に対するエビデンスがほしい」とのご要望を受け、ISO14067 に準拠した CFP 値を算出し、国際的な第三者認証機関である SGS ジャパン株式会社の検証を取得しました。また、当初商品化した純度 99%以上の A1100P の板製品に加え、純度 99.5%以上の A1050P の製品をラインアップに追加します。これらの対応により株式会社 SDAT と白銅株式会社で在庫販売を開始することが決まりました。SDAT には来月より出荷を行います。

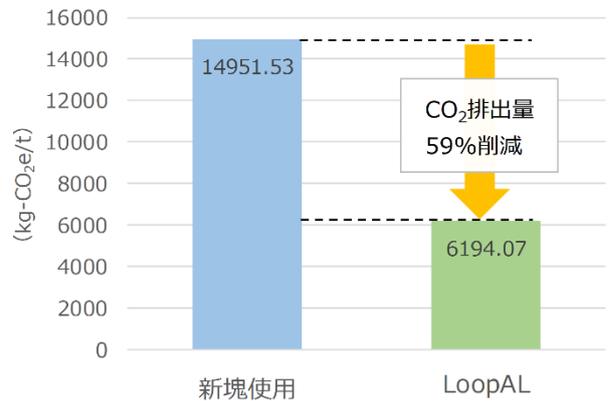
LoopAL[®]ラインアップ

ラインアップ	CFP 値	主な用途	特徴
LoopAL_1100 (純度 99%以上)	6062.73kgCO ₂ e/t	半導体装置の筐体 建材（構造体）など	高い強度と加工性を両立 電気・熱伝導性に優れる
LoopAL_1050 (純度 99.5%以上)	6194.07kgCO ₂ e/t	電子部品や汎用部品 の放熱板など	優れた加工性、溶接性 電気・熱伝導性に優れる

・LoopAL_1100：新塊使用とLoopAL®のCFPの比較



・LoopAL_1050：新塊使用とLoopAL®のCFPの比較



※CFPのライフサイクルステージはCradle-to-gate (原材料調達から生産段階)で算定

堺アルミは、引き続き、信頼性の高い環境配慮型アルミニウム製品の提供を通じて、循環型社会の実現とお客様のカーボンニュートラル目標達成に貢献します。なお、LoopAL®シリーズの追加グレード展開や、さらなる CFP 削減への取り組みについても継続して進めていきます。

SGS ジャパン株式会社

SGS ジャパン株式会社は、115 カ国で、100,000 名を超える専門スタッフとともに、2,500 カ所以上のラボラトリー・事業拠点を展開している世界最大級の試験、検査、認証機関の日本法人です。145 年以上にわたり培ってきた実績をもとに、企業が品質、コンプライアンス、サステナビリティの最高基準を達成できるよう支援しています。

[SGS ジャパン株式会社](#)

株式会社 SDAT

株式会社 SDAT (エスダット) は昭光通商株式会社及び株式会社レゾナック (旧昭和電工株式会社) のグループ会社で、アルミ板製品、アルミ押出型材製品の加工・販売をしています。又蒸発器、サーモコイル®の熱交換器製品を始めとし、アルミポール等の各種アルミ加工品を製造・販売しています。

[株式会社 SDAT](#)

白銅株式会社白銅株式会社は、1932 年創業・1949 年設立の非鉄金属・鋼材・プラスチック材料を中心とした専門商社で、アルミ・ステンレス・伸銅など幅広い素材の加工・販売を手掛けています。半導体や自動車、航空宇宙などのモノづくりを素材面から支えています。

[ホーム | 白銅株式会社](#)